

インダストリアルデザインⅥ

私たちのライフスタイルや思考、そしてテクノロジーが急激に進化・変化していく中、プロダクトがどのように人々の生活に関わっていくのかについて、未来のWell-beingから提案を考える、未来価値創出型の授業です。プロダクトデザインを専攻する工芸工業デザイン学科の3年生が「未来の家電とライフスタイルのデザイン」をテーマにリサーチや検証を行い、新たな家電を考えます。

コンセプト設計やプレゼンテーションでは連携先やゲストデザイナーから様々な視点でフィードバックを受け、リアリティを持った提案をつくり上げていきます。

- 未来のテクノロジーやライフスタイル、価値観をリサーチし、学生一人ひとりが注目するテーマを決め、深く掘り下げる
- 「こんな未来もありうる」という仮説を立て、ストーリーの検証とともにプロダクトとの関わりを探る
- 何をデザインすべきかを検討し、デザインを実行する



この提案は、学校でいじめを受ける女の子が現状を一時的に回避できる冬眠サービスとプロダクトです



このプロダクトは、身体接触、温熱、電気刺激によって、より効果的な癒しを提供します



このプロダクトは、日本酒を冷やし屋外で楽しむための冷蔵庫を提案し、夜桜を眺めながら冷えた生酒を味わえます

📍 連携先

ハイアールアジアR&D株式会社
イノベーションデザインセンター

📅 実施期間

2024年9月～10月

👤 担当教員

田中桂太(工芸工業デザイン)

👥 参加学生の学科

工芸工業デザイン学科
インダストリアルデザインコース

👤 参加学生人数

20人